



2027年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年8月4日

上場会社名 文化シヤッター株式会社

上場取引所 東

コード番号 5930 URL <https://www.bunka-s.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小倉 博之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 西村 浩一

TEL 03-5844-7200

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	50,124	3.0	111	—	215	40.9	317	—
2026年3月期第1四半期	48,676	5.1	292	32.5	364	77.4	111	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 263百万円 (—%) 2026年3月期第1四半期 1,038百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	4.52	—
2026年3月期第1四半期	1.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	200,099	117,132	58.5
2026年3月期	205,651	120,009	58.3

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 116,972百万円 2026年3月期 119,845百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	37.00	—	37.00	74.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	37.00	—	37.00	74.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	110,000	4.5	4,000	3.5	4,300	0.4	2,500	9.0	35.54
通期	250,000	5.8	18,800	20.8	19,500	10.6	13,000	2.9	184.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	72,196,487 株	2026年3月期	72,196,487 株
期末自己株式数	2027年3月期1Q	1,857,862 株	2026年3月期	1,857,862 株
期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	70,338,625 株	2026年3月期1Q	71,114,969 株

(注) 期末自己株式数には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めて記載しております。また、期中平均株式数(四半期累計)の算定に当たり、その計算において控除する自己株式に役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めております。

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業収益を背景とした賃上げ等による雇用・所得環境の改善や設備投資の拡大等により、景気は緩やかな回復基調が続いております。

一方で、エネルギー価格や原材料価格の高騰、人手不足による労働力不足、国際情勢の不安定化など先行きの見通せない状況で推移しております。

当社グループを取り巻く建設・住宅業界におきましても、住宅投資は旺盛な住宅需要を背景に堅調に推移しているものの、建設コストの高騰などにより非住宅投資は軟調に推移しており、依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の売上高は、50,124百万円（前年同四半期比3.0%増）となりました。利益面におきましては、当社グループの全部門において利益の確保に全力で取り組んでおりますが、営業損失は111百万円（前年同四半期は営業利益292百万円）、経常利益は215百万円（前年同四半期比40.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は317百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失111百万円）となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

1. シャッター関連製品事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は20,556百万円（前年同四半期比0.5%増）となりましたが、工場・倉庫向けの重量シャッター等が低調に推移しました結果、営業利益は519百万円（前年同四半期比41.3%減）となりました。

2. 建材関連製品事業

工場・倉庫及びオフィスビル向けのスチールドア等が低調に推移しました結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は18,241百万円（前年同四半期比0.4%減）となり、営業損失は416百万円（前年同四半期は営業損失248百万円）となりました。

3. サービス事業

緊急修理対応や定期保守メンテナンス等が堅調に推移しました結果、連結子会社文化シャッターサービス株式会社を中心に、当第1四半期連結累計期間の売上高は7,242百万円（前年同四半期比6.3%増）となり、営業利益は959百万円（前年同四半期比14.6%増）となりました。

4. リフォーム事業

ビルの改修等を手掛けるリニューアル事業等が堅調に推移しました結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,619百万円（前年同四半期比20.9%増）となり、営業利益は10百万円（前年同四半期は営業損失33百万円）となりました。

5. その他

社会問題化しているゲリラ豪雨等に対する浸水防止用設備を手掛ける止水事業及び気候変動による地球温暖化に伴う夏場の暑熱対策として屋内用遮熱シート等を手掛ける遮熱事業に注力しており、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,464百万円（前年同四半期比40.0%増）となり、営業利益は281百万円（前年同四半期比44.2%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は200,099百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,552百万円減少しました。流動資産は110,651百万円となり、4,882百万円減少しました。これは、商品及び製品が増加(4,026百万円)、現金及び預金が増加(1,518百万円)、流動資産のその他が増加(1,479百万円)した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が減少(12,885百万円)したことが主な要因であります。固定資産は89,447百万円となり、670百万円減少しました。これは、投資その他の資産のその他が増加(276百万円)した一方で、投資有価証券が減少(720百万円)、無形固定資産のその他が減少(134百万円)したことが主な要因であります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は82,966百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,675百万円減少しました。流動負債は47,345百万円となり、2,473百万円減少しました。これは、流動負債のその他が増加(2,739百万円)、短期借入金が増加(980百万円)した一方で、賞与引当金が減少(2,849百万円)、未払法人税等が減少(2,646百万円)、電子記録債務が減少(601百万円)したことが主な要因であります。固定負債は35,621百万円となり、201百万円減少しました。これは、長期借入金が減少(200百万円)したことが主な要因であります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は117,132百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,877百万円減少しました。これは、為替換算調整勘定が増加(617百万円)した一方で、配当金の支払いにより減少(2,613百万円)、その他有価証券評価差額金が減少(441百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により減少(317百万円)したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、2026年5月14日の「2026年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,200	38,719
受取手形、売掛金及び契約資産	43,836	30,950
電子記録債権	10,961	11,402
商品及び製品	10,535	14,562
仕掛品	1,269	1,381
原材料及び貯蔵品	8,800	9,257
その他	3,349	4,828
貸倒引当金	△419	△450
流動資産合計	115,534	110,651
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,759	13,705
土地	13,509	13,513
その他（純額）	15,441	15,405
有形固定資産合計	42,710	42,623
無形固定資産		
のれん	9,702	9,725
その他	6,434	6,300
無形固定資産合計	16,136	16,026
投資その他の資産		
投資有価証券	22,103	21,382
退職給付に係る資産	1,906	1,904
その他	7,475	7,752
貸倒引当金	△215	△241
投資その他の資産合計	31,269	30,797
固定資産合計	90,117	89,447
資産合計	205,651	200,099

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,958	11,656
電子記録債務	8,192	7,591
短期借入金	1,200	2,180
1年内返済予定の長期借入金	840	825
未払法人税等	3,368	721
賞与引当金	5,885	3,035
役員賞与引当金	137	32
工事損失引当金	1,032	1,358
その他	17,205	19,945
流動負債合計	49,819	47,345
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	1,600	1,400
役員退職慰労引当金	265	263
役員株式給付引当金	99	106
退職給付に係る負債	15,553	15,626
資産除去債務	68	68
その他	8,235	8,156
固定負債合計	35,822	35,621
負債合計	85,642	82,966
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,051	15,051
資本剰余金	11,292	11,292
利益剰余金	85,944	83,013
自己株式	△3,079	△3,079
株主資本合計	109,208	106,276
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,950	5,509
繰延ヘッジ損益	5	2
土地再評価差額金	△46	△46
為替換算調整勘定	1,304	1,921
退職給付に係る調整累計額	3,424	3,308
その他の包括利益累計額合計	10,637	10,695
非支配株主持分	164	160
純資産合計	120,009	117,132
負債純資産合計	205,651	200,099

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	48,676	50,124
売上原価	36,291	37,220
売上総利益	12,384	12,904
販売費及び一般管理費	12,092	13,016
営業利益又は営業損失(△)	292	△111
営業外収益		
受取利息	22	32
受取配当金	204	258
為替差益	37	186
その他	86	121
営業外収益合計	350	598
営業外費用		
支払利息	133	153
持分法による投資損失	103	51
その他	41	66
営業外費用合計	278	271
経常利益	364	215
特別利益		
固定資産売却益	2	30
特別利益合計	2	30
特別損失		
固定資産売却損	0	9
固定資産除却損	7	6
特別損失合計	7	15
税金等調整前四半期純利益	359	230
法人税等	476	551
四半期純損失(△)	△116	△320
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4	△3
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△111	△317

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純損失(△)	△116	△320
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	105	△440
為替換算調整勘定	△735	535
退職給付に係る調整額	△61	△109
持分法適用会社に対する持分相当額	△230	71
その他の包括利益合計	△922	57
四半期包括利益	△1,038	△263
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,033	△259
非支配株主に係る四半期包括利益	△4	△3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日至2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	シャッター 関連製品 事業	建材関連 製品事業	サービス 事業	リフォーム 事業	計				
売上高									
顧客との契約から生じる収益	20,448	18,314	6,813	1,339	46,916	1,760	48,676	—	48,676
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	20,448	18,314	6,813	1,339	46,916	1,760	48,676	—	48,676
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,287	8	112	0	1,410	286	1,696	△1,696	—
計	21,736	18,323	6,926	1,340	48,326	2,046	50,373	△1,696	48,676
セグメント利益又は損失(△)	885	△248	837	△33	1,440	195	1,636	△1,343	292

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、止水事業、遮熱事業、太陽光発電システム事業、不動産賃貸事業、保険代理店事業、建築設計事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,343百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,341百万円、棚卸資産の調整額△2百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2026年4月1日 至2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	シヤッター 関連製品 事業	建材関連 製品事業	サービス 事業	リフォーム 事業	計				
売上高									
顧客との契 約から生じ る収益	20,556	18,241	7,242	1,619	47,660	2,464	50,124	—	50,124
その他の収 益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客 への売上高	20,556	18,241	7,242	1,619	47,660	2,464	50,124	—	50,124
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	1,314	7	93	5	1,420	277	1,697	△1,697	—
計	21,871	18,248	7,336	1,625	49,081	2,741	51,822	△1,697	50,124
セグメント 利益又は損失 (△)	519	△416	959	10	1,072	281	1,354	△1,466	△111

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、止水事業、遮熱事業、太陽光発電システム事業、不動産賃貸事業、保険代理店事業、建築設計事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,466百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,464百万円、棚卸資産の調整額△1百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次の通りであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	1,300百万円	1,372百万円
のれんの償却額	257	285